

7/17 地域の活性化に貢献

地遊人制度25周年、愛タウンふるさとづくり協議会設立20周年記念式典が中央公民館で開催され、元地遊人23人を含む80人が出席しました。農村生活を体験する地遊人制度は、まちを元気にしようと平成3年から始まり、全国から93人が利用し、現在21人が町内に定住しています。しかし、応募者が年々減少したことから本年度で募集を停止。今後は地域おこし協力隊の導入が進められます。



7/23 パークゴルフで健康、親睦

置戸町自治連絡協議会主催の全町自治会対抗パークゴルフ大会が7月23日、おけとパークゴルフ場で開かれ、23チーム92名が参加しました。この大会は健康づくりと自治会間の親睦を兼ねて続く恒例行事で今年で24回目となります。参加者は4コース36ホールで日頃鍛えた腕前を発揮し、今年は拓殖Aチームが見事に優勝の栄冠を手に入れました。



7/25 野生大麻除の撲滅を

北見保健所は7月25日、町内のボランティアなど32人の協力を得て置戸町内で野生大麻の除去作業を行いました。強い日差しの中、参加者は額の汗を拭いながら草をかき分け、群生する大麻を一本一本抜き取る作業にあたりました。この日除去した大麻は約2,400本で、北見市内の施設で焼却処分されました。北見保健所では自生している大麻草の情報提供を呼びかけております。



7/27 広がれ花いっぱい輪

35回目を迎えた置戸町自治連絡協議会主催の花いっぱい共励会が7月27日開かれ、花いっぱい運動を実践している個人や団体、職場から花壇の部、ガーデニングの部を合わせて24件の参加申し込みがありました。審査は行わず、参加者の花づくりを見学して、生育方法やデザインなどの情報交換を行い、「綺麗に花を咲かせている」「手が行き届いて綺麗」などと話していました。

